

インタラクティブコミュニケーション論

2 units 2nd-year(2nd semester)

Hidekazu Kakei · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) C言語によるプログラミングを通じて論理的な思考方法を身に付け、簡易なプログラムを自ら作成できるようになる。

Outline) C言語の文法を学び、与えられたアプリケーションを利用するだけでなく、自らプログラムを作成することにより、論理的な思考方法やコンピュータによる情報処理方法を理解する。

Keyword) *programming, information literacy*

Relational Lecture) “映像メディア表現研究”(1.0), “仮想環境構築法 I”(1.0)

Notice) 「映像メディア表現研究」, 「仮想環境構築法 I」の受講は「インタラクティブコミュニケーション論」の履修が条件となります。「映像メディア表現研究」, 「仮想環境構築法 I」の受講希望者は本授業を必ず受講してください。他コースからの受講は人数制限をする可能性があります。

Goal) C言語を用いて簡易なプログラムを作成できるようになる。

Schedule)

1. プログラム作成の流れ
2. C言語の約束事
3. 変数と算術演算子
4. 型変換と記憶クラス
5. 条件による分岐 1 if 文
6. 条件による分岐 2 switch 文
7. 繰り返し処理 1 for 文
8. 繰り返し処理 2 while 文
9. 実習 1 「条件分岐」, 「繰り返し処理」, 「乱数」を利用したプログラム作成
10. 配列
11. 関数
12. ポインタとアドレス
13. ポインタと配列
14. 構造体
15. 再帰
16. 実習 2 「関数呼び出し」, 「配列」, 「ポインタ」を利用したプログラム作成

Evaluation Criteria) 課題の提出及び授業貢献により評価。試験は実施せず。

Re-evaluation) 再評価は実施せず。

Reference) 授業中に適宜指定する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219052>

Contact)

⇒ Kakei (マルチメディア B 棟 206, +81-88-656-7166, kakei@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日5-6(他の時間帯でも連絡の上随時訪問可))